

■ 週 1 日（3 名）

Aさん（18歳 男性）

授業とサークルが忙しく、まずは無理のないペースで関わるといいと思い週 1 日にしました。

Bさん（19歳 女性）

長期インターンが初めてだったので、まずは様子を見る意味で週 1 日から始めました。

Dさん（21歳 女性）

他にもアルバイトをしていたので、両立できる範囲として週 1 日が限界でした。

■ 週 2 日（9 名）

Eさん（19歳 男性）

授業の少ない曜日を使って、無理なく続けられるのが週 2 日だと感じました。

Fさん（20歳 女性）

学業とのバランスを取りながら、継続的に関わるちょうどいい頻度でした。

Gさん（21歳 男性）

週 1 日だと仕事を忘れてしまいそうで、最低でも週 2 日は必要だと思いました。

Hさん（18歳 女性）

負担になりすぎず、インターンとしての実感も持てるペースでした。

Iさん（22歳 男性）

企業側とも相談し、最初は週 2 日から始める形になりました。

Jさん（20歳 男性）

週 2 日ならテスト期間も調整しやすく、長く続けやすかったです。

Kさん（21歳 女性）

授業・課題・インターンを両立するうえで、一番現実的でした。

Lさん（19歳 男性）

インターンに慣れるには十分な頻度で、生活リズムも崩れませんでした。

■ 週 3 日（11 名）

Nさん（20歳 男性）

業務をしっかり覚えるには、週 3 日は必要だと感じました。

Oさん（21歳 女性）

週 2 日だと進捗が遅く、週 3 日にしてから成長を実感できました。

Qさん（19歳 女性）

インターンを生活の一部として習慣化できる頻度でした。

Rさん（20歳 男性）

責任ある仕事を任せてもらうには、ある程度の出勤日数が必要だと思いました。

Sさん（21歳 女性）

ガクチカとして話せる経験を作るには、週 3 日がちょうどよかったです。

Tさん（18歳 男性）

学業にも余裕があり、成長スピードも落とさず取り組めました。

Uさん（22歳 女性）

プロジェクト単位で動くには、週 3 日は必要だと感じました。

Vさん（20歳 女性）

インターン先との信頼関係を築きやすい頻度でした。

■ 週 4 日（4 名）

Xさん（22歳 男性）

休学中だったため、ほぼフルタイムに近い形で週 4 日参加していました。

Yさん（21歳 女性）

インターンを最優先にした生活を送っていたので、この日数になりました。

Zさん（20歳 男性）

実務経験を短期間で積みたく、かなりコミットしていました。

AAさん（19歳 女性）

社員の方に近い立場で働きたいと思い、出勤日数を増やしました。

■ 週5日（2名）

ABさん（22歳 男性）

休学してフルコミットしていたため、ほぼ社員と同じ働き方でした。

ACさん（21歳 女性）

インターン先でそのまま採用を目指しており、週5日参加していました。

■ その他（1名）

ADさん（20歳 男性）

テスト期間や繁忙期によって出勤日数が変動しており、固定していませんでした。